教員名	宮内　貴久　(MIYAUCHI　Takahisa)
所　属	生活科学部人間生活学科生活文化学講座
学　位	博士　(文学)　(2003 年　筑波大学)
職　名	助教授
URL　／　E-mail	miyauchi@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード

風水　／　家相　／　番匠巻物　／　呪い歌　／　職人

◆主要業績

・『家相の民俗学』　吉川弘文館　2006 年 4 月

◆研究内容

今年度は大工が所蔵する巻物について、①所在調査、②内容の解読を行った。

今年度の調査で、建仁寺流の史料が青森県弘前市、福島県郡山市・南会津郡只見町、福井県、富山県に存在することが確認され、全国的に展開していることが確認された。三輪神道系の巻物も兵庫県、徳島県に存在することが確認された。特に徳島の史料は会津の史料とほぼ同じ内容であり、また 17 世紀中頃のもので、これまで知られている史料の中でも非常に古いことが確認された。

資料の内容であるが、各儀礼の呪い歌のうち火伏せの呪い歌が全国的に分布し民俗として定着しているが、その民俗が少なくとも 18 世紀中頃には存在していたことが確認された。

◆教育内容

今年度の演習と生活文化実習では、高度経済成長からの生活文化の変化をモノを通して考えることを試みた。具体的には生活用具の変化を当時の文献史料と聞き書きから再構成することを行った。さらに、実習では東京都江東区門前仲町をフィールドにして、大正末から昭和 30 年代の生活の様子とその変化の聞き書きを行った。このことにより、普段意識しない生活文化を相対化する視座の構築と資料調査方法の習得を目指した。

◆将来の研究計画・研究の展望

職人巻物研究では、全国的に分布していることが確認されたため、引き続き史料調査を行うと同時に内容の分析から、近世における大工集団の実態について解明していきたい。

◆受験生等へのメッセージ

大学はキャンパスで学ぶだけでなく、図書館や美術館といった施設、さらにはフィールドワークにより広く学ぶところです。
私は機会があるごとに学生を連れて色々なところに出かけています。昨年度は特に深川を歩き、そこに暮らしている人から話を聞きました。
お茶大に入って色々なところを訪れて学びましょう。